

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年6月23日(2016.6.23)

【公開番号】特開2014-14039(P2014-14039A)

【公開日】平成26年1月23日(2014.1.23)

【年通号数】公開・登録公報2014-004

【出願番号】特願2012-151203(P2012-151203)

【国際特許分類】

H 04 W 4/04 (2009.01)

H 04 W 80/08 (2009.01)

G 08 G 1/09 (2006.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 106

H 04 Q 7/00 604

G 08 G 1/09 F

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月28日(2016.4.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基地局向けの通信パケットを送信可能な通信機であって、

前記通信機が送信する通信パケットには、宛先の通信機種別を示す情報を有する種別情報が含まれ、

前記種別情報は、前記通信パケットの制御フィールドであって、前記通信パケットの受信側においてMAC層よりも上位層又は当該上位層がアクセスする処理部において読み取られる制御フィールドに設けられている

ことを特徴とする通信機。

【請求項2】

前記種別情報は、通信機が基地局であるか移動局であるかを識別可能な情報である
請求項1記載の通信機。

【請求項3】

前記通信機は、通信パケットの宛先アドレスとしてブロードキャストアドレスのみが規定された規格に準拠した移動局が含まれ得る無線通信システムにおいて用いられるものであるとともに、

基地局向けの通信パケットを送信する際には、前記通信パケットのMAC制御フィールドにおける宛先アドレスとして、非ブロードキャストアドレスであって前記基地局が宛先となるアドレスをセットする

請求項1又は2記載の通信機。

【請求項4】

前記種別情報は、700MHz帯高度道路交通システム標準規格(ARIB STD-T109)に規定するレイヤ7ヘッダに設けられている

請求項1～3のいずれか1項に記載の通信機。

【請求項5】

前記種別情報は、前記通信パケットの受信側において、セキュリティ処理が行われたセ

キュアなアプリケーションデータを、アンセキュアなアプリケーションデータにする処理を行う前に読み取られる制御フィールドに設けられている

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の通信機。

【請求項 6】

前記通信パケットには、前記種別情報として、送信元の通信機種別を示す情報が更に設けられている

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の通信機。

【請求項 7】

通信パケットの宛先アドレスとしてブロードキャストアドレスのみが規定された規格に準拠した移動局が含まれ得る無線通信システムにおいて用いられる通信機であって、

基地局向けの通信パケットを送信する際には、前記通信パケットの MAC 制御フィールドにおける宛先アドレスとして、非ブロードキャストアドレスであって前記基地局が宛先となるアドレスをセットする

ことを特徴とする通信機。

【請求項 8】

前記通信機は、基地局である

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の通信機。

【請求項 9】

前記通信機は、移動局である

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の通信機。

【請求項 10】

基地局及び他の移動局との間で無線通信を行う移動局であって、

受信した通信パケットから、宛先の通信機種別を示す情報を読み取ることで、前記通信パケットが、基地局向けに送信された通信パケットであるか否かを識別し、前記通信パケットが、基地局向けに送信された通信パケットである場合には、前記通信パケットを破棄するよう構成され、

前記情報は、前記通信パケットの制御フィールドであって、前記移動局において MAC 層よりも上位層又は当該上位層がアクセスする処理部において読み取られる制御フィールドに設けられている

ことを特徴とする移動局。

【請求項 11】

無線通信を行う基地局及び移動局を含む無線通信システムであって、

前記基地局又は前記移動局は、宛先の通信機種別を示す情報が含まれる通信パケットを送信するよう構成され、

前記移動局は、受信した通信パケットから、前記情報を読み取ることで、前記通信パケットが、基地局向けに送信された通信パケットであるか否かを識別し、前記通信パケットが、基地局向けに送信された通信パケットである場合には、前記通信パケットを破棄するよう構成され、

前記情報は、前記通信パケットの制御フィールドであって、前記通信パケットの受信側において MAC 層よりも上位層又は当該上位層がアクセスする処理部において読み取られる制御フィールドに設けられている

ことを特徴とする無線通信システム。

【請求項 12】

基地局向けの通信パケットを送信可能な通信機に設けられたコンピュータによって実行されるコンピュータプログラムであって、

宛先の通信機種別を示す情報が含まれる通信パケットを生成する処理を前記コンピュータに実行させるよう構成され、

前記情報は、前記通信パケットの制御フィールドであって、前記通信パケットの受信側において MAC 層よりも上位層又は当該上位層がアクセスする処理部において読み取られる制御フィールドに設けられている

ことを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項 1 3】

基地局及び他の移動局との間で無線通信を行う移動局に設けられたコンピュータによって実行されるコンピュータプログラムであって、

受信した通信パケットから、宛先の通信機種別を示す情報を読み取ることで、前記通信パケットが、基地局向けに送信された通信パケットであるか否かを識別する処理、及び、

前記通信パケットが、基地局向けに送信された通信パケットである場合には、前記通信パケットを破棄する処理、

を前記コンピュータに実行させるよう構成され、

前記情報は、前記通信パケットの制御フィールドであって、前記移動局において M A C 層よりも上位層又は当該上位層がアクセスする処理部において読み取られる制御フィールドに設けられている

ことを特徴とするコンピュータプログラム。